

QYouth
For youth

まちなか

Qyouth..

vol.02

非日常の二日間。

新しい自分と出会う

まちと、おとなと、出会い

自分にも何かできるはず。

だけど、きっと

やりたいことはない。

YOUTH MEET
PASSION in TOYOTA



企画・運営：あいす 鈴木友香

デザイン・撮影：株式会社レジスタ

まちと出会う # おとなと出会う # 自分と出会う

CONTENTS

03-04	QYouth とは
05-06	三河別院 拳母支院
07-08	T-FACE
09-10	MAMEKICHI
11-12	豊田市青少年センター
13-14	靴磨屋 T.A.N.S.
15-16	受け入れ事業者様の声
17-18	大学生サポーターの声
19	スポンサー企業の皆様
20	ギャラリー
21-22	終わりに

point 01

高校生が1歩目の挑戦の場として 気軽に参加できるプログラム。

「やりたいことはない、だけど、きっと、自分にも何かできるはず」そんなことを思っている高校生が気軽に参加できるプログラムとして、企画しました。
事前にインタビュー講座を入れることで、普段大人とのコミュニケーションに慣れていない高校生もいきいきとフィールドワークを行っていました。

point 02

現地に行って、人とまちとリアルに出会う。

まちなか QYouth では、現場での探究活動を大切にしています。
実際に現地に足を運ぶことで、見えていなかった視点や知らなかった考え、人との出会いがあると思っています。
若者が豊田市の魅力を自ら発見して、地域と若者の繋がりを生み出します。

point 03

気づいたこと、学んだことを 自分の言葉で表現する。

フィールドワークで気づいたこと、学んだことを自分の言葉で言語化して、意味づけ・価値づけする振り返りの時間を多く設定しています。
ワークシートで自分の心と対話をしたり、そのワークシートをもとに高校生同士で学びを深めたり、大学生パートナーとの対話を通じて、自分の納得いく言葉を見つけます。

まちなか What's QYouth..

まちなか QYouth とは、

Youth（高校生）が " まち " やまちで活躍する " 人 " に焦点を当てて、

Q（問い）を立て実際にまちの中で、フィールドワークを行います。

そこで、高校生が感じたことや気づいたこと、学んだことを、

高校生同士の振り返りや、大学生パートナーとの対話を通して、

言語化し、それをフリーペーパーとして表現をし、

自分の言葉で大人たちに語るプログラムです。



お寺ってどんな場所？

“お寺”や“仏教”についてどのようなイメージを持っていますか？
所謂お坊さんが大人数いるところ？難しそうな念仏を唱えている？
実はそのどちらでもないんです！遠田さんはお寺の在り方について、
皆の集いの場にしたいと仰っていました。仏教（真宗大谷派）の在り
方については、皆が念仏によって救われる宗旨だ、と仰っていました。
その想いにはある出来事が関係しているようです。

悩みを持つ“全て”の人へ

このお寺について、経済的な面を気遣ってくれていた方がいました。
仏教についてそれほど関心が無かったそうです。ある日、その方は
最愛の妻を失くしてしまいます。お寺を掃除している際、不意に
お釈迦様に目を向けられ、遠田さんに救いを求められたそうです。
その時、遠田さんは**身近な人こそ救いたい、受け入れる場にしたい**、
と考えました。そのような場を作ることで、砕けた話ができるよ
うになった時に初めて、お釈迦様の救いが皆を導く、と。それから、
「お寺 × サウナ」「お寺 × ヨガ」など、地域交流の場を作るよ
うになったのだとか…皆さんも、些細な悩みを相談してみても？

Recommended
points

日常生活を「公案」 として生きる

出家をすれば悩みごとは無くなるけれど、普通の生活では悩みが絶えない。
私たちと同じ生活をする事で、誰でも
救われるという教えであることを体現
しています。

※別宗派では“公案”と呼ばれる問答
や課題を修行の一環として取り組む

絶対的な幸せって？

サラリーマンとして働いていた頃、
お金には不自由しなかったそう。当
時の遠田さんにとっては幸せな事だ
と思っていたそう。けれど、それ
は一時の幸せであり、ゆるぎない幸
せとはかけ離れていたと気づき、以
後、絶対的な幸せを見つけられるよ
うに精進しているそうです。

Information

店舗名：真宗大谷派（東本願寺）三河別院 拳母支院
住所：愛知県豊田市神明町1-55
電話番号：0568-32-1759
SNS：<http://www.facebook.com/koromosiin>



三河別院 拳母支院

Mikawa Betsuin Koromo Branch

れきしるころも

約100年の歴史があるこのお寺。お寺にしては意外にも歴史が浅い？
いえいえ！紆余曲折を経たお寺なんです！
先代の在勤さんがお寺を出てから空き家だったこの拳母支院。
勉強中だった遠田さんが登用され、地域密着型のお寺になりました。

遠田さんについて

【在勤】遠田教義（義美）さん

【経歴】30歳頃までサラリーマンとして働く。あまりの
忙しさに残業が多く、家族とすれ違いの日々が続く。奥
様のご実家がお寺という縁もあり、お坊さんになること
を薦められ、一念発起。会社を辞め、勉強を始める。

- # 親しみやすい
- # 実は住職ではない！？
- # 絶対的な幸せ

地域のお寺を
コミュニケーション
の場に



01

まさか T-FACE に！？ 発見！豊田のおかん！

鬼頭さんは、お母さんのような包容力をお持ちの方だった！

話の中で豊田への愛情が溢れるほど伝わってきた。今のままじゃだめだと、今は人と人、地域を繋げる、幸せで自由な空間の創造に尽力しているそう。長期休暇に学生が至る所で勉強していた際には、勉強スペースを解放したり、イベントを企画したりする姿はまさに豊田のおかんそのものだ！しかし、イチャイチャスペースやたくさんのラクガキがあり、鬼頭さんの好き！！やりたい！！の遊び心全開！！そんな鬼頭さんの人柄に皆さんも惹かれることまちがいないし！！

Recommended
Points



こんなところ、
欲しかった
みんなで作る
ライフモール

失敗よりもチャレンジを

いままで多くの失敗や上手くいかないことがあっても前を向き、やってみなきゃ始まらないとたくさんの方にチャレンジしてきたそう。さらに！！日本中の各地域の成功例も失敗例も自分の目でみて、話を聞きに行くそうで、その行動力や向上心には驚かされた。

鬼頭さんは T-FACE を発展途上と捉えており、新しい企画もどんどん考えている。今後鬼頭さんと豊田市民の皆さんによって T-FACE がどのように変わっていき、さらに愛される場になっていくのか楽しみである。



AYA'S Feeling

「買い物を辞めた」

その一言がとても衝撃的だった。
商売じゃない、利益じゃない、お金じゃない。
こんな自由でのどかなショッピングセンターに私は人生で初めて出会った。
地域に寄り添い、市民を愛し、愛される。
そんなショッピングセンターとは思えない空間。
きっとこの先も沢山の発見や出会いがこの場所で生まれていく。
私の地元である名古屋にもこんな場所や鬼頭さんのような方がいればよいのにと心から思った。

OTOWA'S Feeling

「イチャイチャしてもらいたい」

この言葉を聞いた時、僕は頭の中で「イチャイチャ？！」と戸惑ってしまった。
その後お話を聞く中で、鬼頭さんが Y テラスに込めた想いを語ってくださった。生まれ育った豊田市に「世代を越えて思いを共有できる場所」をつくり、友達、カップル、親子など年齢や性別に囚われることなく Y テラスでイチャイチャして幸せになってもらいたい。時々 Y テラスを利用する僕はまさかそのような想いが込められているとは予想もできなかった。だからこの事実をもっと多くの人に知ってもらい、誰もが気軽に利用できる場所になってほしい。

Information

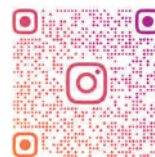
店舗名：T-FACE

住所：愛知県豊田市若宮町 1-57-1

電話番号：0565-33-0004

WEB：<https://www.t-face.com/>

SNS：https://www.instagram.com/tface_toyota/



T-FACE

ティーフェイス

ショッピングセンターなのに ありなんだ！！！！

豊田市駅から徒歩 1 分、T-FACE 6 階に位置し落ち着いてくつろげる「Y テラス」は、運営者の鬼頭さんたちの創意あふれるアイデアが盛り込まれていた。例えば、床のあちこちに見られる設計者の遊び心ある落書きや鬼頭さんが理想としてきた仕掛けが施されたスクリーン。それだけではなく、森林伐採により捨てられるはずだった豊田市の木を再生利用して市民が作ったイスを設置するなど、地域との繋がりや環境配慮を意識した取り組みを行っている。

鬼頭さんは「世代を越えて思いを共有できる場所は街に少ない。だから買い物目的以外でもお客様に利用していただける場所となるよう努力している」と語っていた。加えて、市民の方が輝ける場所を目指して積極的にイベント活動を行っている。実際に、取材日は Y テラスで音楽イベントが行われており、イベントを目的に来た人で賑わっていた。そんな世代を越えて共有できる場所を是非利用してみませんか。

市民の名前入り！



私を避けて！



Y = Why?

イチャイチャ話

こだわりと遊び心

Recommended points

こんな人にオススメ！

- 男女年齢問わず、体に良いものを食べたい人
- おにぎりの常識を変えたい人
- 落ち込んでいる人
- 普段ない出会いをしたい人



豊田一 ポジティブな店長

MAMEKICHI の山本さんの座右の銘は
”ポジティブ”です。
このポジティブは、いろんなことに挑戦をする
原動力となっています。
また、山本さんの作るスパム料理は
偶然の出会いを作ります。

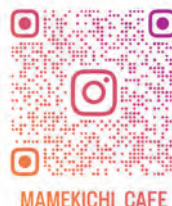
偶然の出会い

ある日、お店の Instagram に
フォローが来ました。そのアイコンを
見ると見覚えが、思わず連絡すると、
その人は長い間連絡の取れなかった高校の同級生
でした。山本さんがいるお店だと
知らずにお店に魅力を感じてフォロー
「偶然の繋がり」がありました。
山本さんはこのような**偶然の出会い**が
原動力になっている
とのことでした。



Information

店舗名：MAMEKICHI
住所：豊田市喜多町4丁目66-1
電話番号：0565-41-6005
WEB：<https://mamekichicafe.com>
Instagram：@mamekichi_cafe



MAMEKICHI マメキチ

個性豊かなおにぎり店

豊田市駅から豊田スタジアムに向かって徒歩6分の場所にある、『MAMEKICHI』はポジティブな店長山本さんが営んでいるポークたまごのおにぎり店。このお店の名前の由来は合同会社 P-BEANS の訪問介護事業 P-BASE から来ていて、BEANS の“豆”と BASE の“基地”で「豆基地」です。「豆吉」ではありません！この飲食事業に至った経緯として「食」とは人とのコミュニケーションの一環であることや MAMEKICHI から P-BASE の存在を知ってもらうため始めました。

商品開発時には、食べやすさを重視していて、いろんなターゲット層に向けて考え飽きない工夫がされています。例えばエビフライにはタルタルソースではなく、オーロラソースを使っていたり、ポークがメインのお店でありながらポークを使わない商品を提供するなど「個性豊か」な工夫があります。一見おしゃれなお店ですが山本さんは「コンビニ感覚」で来店してほしいという願いや健康なものを食べてほしいという願いが込められています。山本さんの人柄が生み出す個性豊かな空間にぜひ行ってみて体験してみませんか。

食で繋がる
「ポジティブ」な
出会い

- # コンビニ感覚
- # ポジティブマインド
- # 「食」は人の共通部分



#あえて失敗に 向き合う価値 by ようし

「失敗しても
それが経験になるから、
失敗はいいことだ」
という大人ほど失敗しないような道を示
してきました。一方、センターの方の
のたくさん失敗をしてきたこれまでの
キャリアから言葉に重みを感じ、
若者の意見を尊重して待つ姿勢が
心に響きました。

#言葉でつながる ひとのわ by ゆうな

あいさつ + α
を心掛けている
青少年センターの職員さんたち。
高校生は家と学校の往復で人との
つながりが限定されがちです。
しかし、職員さんの + α の一言が、
施設を利用する高校生の人との
つながりの「わ」を広げている
と感じました。

#多世代交流で 深める絆 by ひろむ

高校生から社会人までの
幅広い年代の人々が
ボランティア活動を
共に行うことで、交流する
機会が増え、お互いが楽しめる
ということに改めて魅力を感じました。
ボランティアを志す高校生よ！
一緒に活動しませんか？



豊田市 青少年センター Toyota City Youth Center

若者との一言を大切につなぐ 「ひと」と「ひと」との交差点

豊田市青少年センターは部活の自主練、勉強、ボランティアの申込・情報集め、まちづくり企画事業 WAKATTE への参加などができます。高校生・大学生・社会人の頑張りを応援する設備や情報そして…「ひと」が集まる場所です。青少年センターにあったのはつながりから生まれるあたたかさでした。職員さんはあいさつはもちろん + α の声かけをすることで、利用者に寄り添っていました。たった一言。されど一言。一言の積み重ねから生まれる人と人とのかわりによって、施設のあたたかな雰囲気がつくられていました。インタビューでは、青少年センターの方と利用者の面白いながらに心温まるエピソードが聞けました。ただの公共施設じゃない！言葉が紡ぐ、ひとの物語が交差する青少年センターと一緒にいきませんか？

未来への挑戦に
そっと背中を押す
まちづくり拠点

User's Episode



まちづくり企画 “WAKATTE”に参加して

“WAKATTE”に参加した1人の
若者は最初、廃車をロビーに置いて、
その廃車に子どもたちと落書き
したいという企画を考えていま
した。企画を進めていく中でお金、
配送手段などさまざまな壁、挫折
にぶち当たりました。

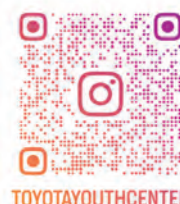


しかし ...

最初持っていた夢をあきらめたく
ない！という思いから、ダンボ
ールでフロア一面が埋まるほど大
きなバスを作り、そこに落書きを
する企画「とよたキラキラバス」を
成功させました！

Information

豊田市 青少年センター
住所：愛知県豊田市小坂本町1丁目25
豊田産業文化センター1階
電話番号：0565-32-6296
WEB：https://youth-toyota.com
SNS：@toyotayouthcenter



あえて失敗に 向き合う価値

言葉でつながる ひとのわ

多世代交流で 深める絆



大切にしたい靴を持つあなたへ

■思い入れのある靴をまた履きたい人

成人のお祝いにももらったあの靴。初めてもらったお給料で買った靴。
あなたの大切な靴を「大切にする」ために預けてみませんか？

■これから大切にしたい靴を持ちたい人

まだ大切にしたい靴を持っていない人もぜひ T.A.N.S. へ！靴の相談も聴いてくれます。
そして、定期的に靴を磨いてもらえば安心！

安心・かっこいい！本田さんの技術

たくさんの練習が積み重なった本田さんの靴磨きの技術。難しい靴磨きがあると、家のお風呂でも考えてしまうそう。一足一足真摯に向き合う本田さんの技術は圧倒されるものだ。また、所作にも気を付けているそう。丁寧かつスピード感のある靴磨きをぜひあなたにも見ていただきたい！

リピーターさんの声 customer's voice

「私で磨くと、上手くいかない。
靴を履き続けるために、磨いてもらうの。
人も多くないし安心して訪れることができる。」
と5年間通い続けるお客さんは言う。
本田さんの靴磨きの技術
大切にしてきた縁で手に入れた場所
がリピートしたくなる秘訣のようだ。

なんとこのクオリティで
¥2200 ~

BEFORE

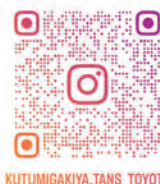


AFTER

本店から引き継ぐアメリカンカジュアルな店内！

Information

店舗名：靴磨屋 T.A.N.S.
住所：愛知県豊田市喜多町 2-160
コモスクエア WEST 1F
電話番号：0565-98-0223
WEB：https://kutumigakiya-tans.com
Instagram：@kutumigakiya.tans_toyota



Recommended
Points



靴磨屋 T.A.N.S. Shoe Polishing Shop T.A.N.S.

縁がつかない靴磨屋

大学卒業後、1年間養成学校に通いお笑い芸人を目指す。
3年間お笑い芸人として過ごした後、幼なじみに誘われ服飾の仕事に3年間就く。その後、独立し幼なじみとオーダーメイドスーツ会社を設立したが、上手く軌道に乗らず今後の進路に迷う中で、愛知・江南市で靴磨き屋をしている後の師匠に出会う。やがて師匠に誘われ靴磨屋を目指す。
半年の修行を経て2019年、地元・豊田市に靴磨屋をオープン！
始めは分からない事も多かったが地元の方に支えられ、
今日も街中の靴磨屋さんとして、お客様の大切にしたい靴を磨き続けている。

「話したくなる」靴磨屋さん

本田さんは面白くて話しやすく明るく、お客様を1人1人大切にしている方で、お客様から愛される靴磨屋さんだ。本田さんは愛想良くハキハキ話し、がむしゃらに努力し続けることを常に心がけている。本田さんはお客様の靴を綺麗に磨いて返却した際の喜ぶ顔を見て嬉しい気持ちになると語る。本田さんと話すために自身の靴を磨きに持ってくるお客様もいるそうだ。

お客様も靴も縁も大切に
お笑い芸人からの転向
変わらない人を
笑顔にしたい気持ち

芸人出身の
靴磨屋さん

「たいせつ」と歩む

お笑い芸人を目指す！

起業するが...

師匠と出会う

靴磨屋OPEN！



受け入れ事業者様の声



豊田市青少年センター
江坂 秀晃さん

青少年センターにお越しいただきありがとうございました。
私たちは、若者の社会参加・自立支援・居場所づくり・情報発信の4つを柱に、
若者の成長を支援しています。みなさんが限られた時間の中でしっかりと
準備し、自分の言葉でプレゼンしている姿にとっても感動しました。
この素晴らしい経験が、今後の自信、新たな一歩につながることを願います。
また青少年センターとしてお手伝いできることがあれば嬉しいです。いつ
でもセンターにあそびにきてください!!

MAMEKICHI.
山本 美弥子さん

まずはありがとうございますの一言です。MAMEKICHI を選んでくださ
り、MAMEKICHI を知ってくれたことに本当に感謝の気持ちでいっぱい
です。わたしと一緒に色々な話をしてくれた高校生大学生の子達に何か
1つでも心に響いた言葉があったらいいなあと思います。どんな事でも
チャレンジして経験をする事がその『人』を作っていくという過程でと
ても、大切な事だと改めて感じました。ありがとうございました♡



三河別院拳母支院
遠田 教義さん

この度は貴重なご縁をいただきありがとうございました。
現代ではメディアでも「宗教離れ」「寺離れ」などと言う話題が多くそれ
が現代の風潮のように語られますが多様化の中で様々なアプローチをそ
れぞれの立場から模索しているように感じています。
今回の若い方々の取組みもそんな中の一つではないでしょうか？
継続的な発信を地元のお寺さんとして応援しています。



靴磨屋 T.A.N.S.
本田 大士さん

この企画のお話を頂いた際「高校生と接する機会って普段全く無いな、
ぜひ話してみたい」と思い、参加させていただきました。2名の生徒さ
んと話している中で、ふと自分の高校生時代を思い出しました。卒業後
の進路を考えなきゃいけない、将来を考えながら大学を探してみたり、
いきなり社会に出る可能性もあったりと、不安を抱えながらちょうど大
人の階段を登り始めた時だったなあと。結果、大学へ進学しましたが卒
業後、就職せずに高校生の頃に心の中で一番大きかった夢に挑戦しまし
た。現在もう37歳ですが、まだまだ「やりたいことに挑戦する」という、
高校生の頃に感じていた純粋な気持ちを、今回生徒さんとお話しさせて
もらったことで思い出させていただきました。こんなきっかけを作っ
ていただき、ありがとうございました。

T-FACE
鬼頭 成江さん

私たち大人の話をキラキラした目で聞いてくれるので、調子に乗って話
してしまうのが危険でした。子どもたちの素朴な疑問（そんなこと気にな
るんだ？）は私たちの「当たり前」を覆す発見になると同時に、彼
らの考え方を聞くにつけ大きな感動を覚えました。まちづくりへの考え
を共感してくれる若き仲間ができたような感覚です。ありがとうございました。





船越 詩悠

2 日間取り組んできた中で、訪問先の事業所を入念に調査する姿、楽しそうにインタビューする姿、フリーペーパーの作成で思い悩む姿、本番で大勢の大人の前でも一生懸命に発表する姿等、どの場面を切り取っても参加してくれた高校生たちの素敵な姿を発見することができました！このプログラムをバネに次なるステージでの彼らの成長がとっても楽しみです♪ 昨年に引き続き自分は 2 度目のまちなか QYouth、今回もたくさんの出会いと喜びがありました！素敵な 2 日間をありがとうございました！！

平野一成

第 1 回パートナーとして参加させていただいた時に私は「チャレンジャーであり続けたい」と思いました。第 2 回を経て感じたことは、「人の大事にしていることを自分も大事にできるようにしたい」です。Qyouth にどんな思いを持って参加しているのか、どうなりたいのかをちゃんと聞いた上で、自分の動きかけ干渉具合を変えるべきだと感じました。人が大事にしていることを自分も大事にすることの難しさを感じたと同時に大事にできる人でありたいと感じる 2 日間でした。



太田安香里

関わる方全体が温かくて癒される時間であることと裏腹に、高校生を主役としながらフリーペーパーの作成を 2 日間で仕上げるハードな 1 面もあり、今まであまり経験したことのない面白さを感じました。自然体の中で相手にとって良いここでの挑戦とはなんなのかを探ることは、表出はしづらけれど相手を思いやる大切な力だなどこの期間で感じたので、今後も自分で育み続けたいなと思いました。

上田光太郎

これを機会に学んだことや、きづいたこともたくさんあるとおもうけど、一方で今は何言ってんだらうってことだったり、わからないことや受け取れないこともあると思う！そのモヤモヤも味わいながら、いつかハッとするその時を楽しみにしながら、今を大切に生きてほしいなと思います！幸あれ！



松村 咲哉

いやぁ、本当に充実した 2 日間でした。大学生サポーターとして、高校生の挑戦に 1 番近くで伴走し、その成長の過程を見届けられたこと、背中をそっと押していたつもりが、気づいたらエネルギーを貰っていたのは自分だったこと、そこに生まれていた全部があたたかい温度感とともに場に中和していて、そんな時間をみんなと共創できたことがまず幸せだったし、会場に溢れる熱量を丸ごと愛しながら一人ひとりとしなやかに関係値を紡げたことが嬉しかった。出会ってくれた皆さん、本当にありがとうございました！

佐野天咲

この 2 日間を通して、高校生たちからすごくたくさんの刺激を受けました。どんなフリーペーパーを作りたいかアイデアを出し合う姿、より良い記事を作るために大胆に話を聞きに行く姿、インタビュー内容・インタビューさせていただいた方の魅力をどうしたら純度高く伝えることができるか真剣に考える姿、堂々とステージの上で自分の言葉を紡ぐ姿、どれも心打たれました。自分なりにまちと人に向き合う高校生の姿を見て、大学生である私の方がまだまだだなと感じさせられた機会でした。関わってくださった全ての方に感謝です！



PARTNER

大学生パートナーの声

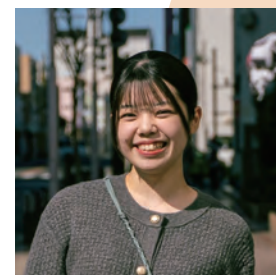


三宅徠夢

2 日間という短い期間だったけど、とても濃い時間を一緒に過ごさせてもらう中で高校生の可能性には不思議とこちらも熱をもらいっぱなしでした。このプロジェクトが始まる頃、実際に豊田市の事業所にどんな感じでインタビューして、どんな感じでプレゼンするのか未知の世界だったと思います。そんな未知の中でこんなことが聞きたい！やこをこうプレゼンしたい！と前のめりな姿勢は必ず人生の財産になると思います！そんな場所に携わらせていただきありがとうございました！！また今後も関わり続けられたら幸いです！！

佐藤良祐

高校生の皆さん、二日間という短いスケジュールの中で素敵なフリーペーパーの完成お疲れ様でした。このような活動は自己の成長を促し、個性を伸ばす点で素晴らしいと思います。普段の学校では得ることの出来ない栄養素をたっぷりと含んでいると思いますので、これからも積極的に参加して行ってほしいと思います。皆さんと素晴らしい時間を一緒に過ごすことが出来てとても嬉しかったです。またどこかで一緒に活動出来たら、その際はよろしくお願いします。



上戸愛

私にとって 2 回目の Qyouth。今回も素敵な高校生たちとともに、地元豊田市の新たな魅力を発見することができました。さらに、出会った大人たちの姿や、自分自身と真剣に向き合う高校生たちの姿から、私も多くのことを学びました。最終プレゼンでは、一人ひとりが想いを言葉にし、まっすぐに語る姿に胸が熱くなりました。一生懸命な姿は本当にかっこいい！最高の仲間に会えてしあわせです。ありがとうございました！

鈴木まどか

昨年高校生参加者として参加しましたが、今回は大学生になりパートナーとしての参加でした！二日間とは思えない濃さで、高校生や他の大学生とも意見を交わし、真剣に向き合うということを改めて時間をとって考える良いきっかけになりました！探究学習と呼ばれるものが学校に広がっていますが、本当の探究とは何か、高校生にとって本当に必要な対話の仕方を何なのかを考え、自身のキャリアや考え方にもすごくいい影響をもらった気がします！ありがとうございました！





この度は、「まちなか QYouth」のフリーペーパーを手にとっていただき、ありがとうございます。

昨年からスタートした「まちなか QYouth」ですが、多くの方々のお力添えにより、無事に2回目の開催を迎えることができました。

私自身、高校時代に多様な大人との出会いを通じて人生が大きく変化した経験があります。

この経験から、自分の地元である豊田市で、高校生にも同じような体験を届けたいという思いでこの企画を立ち上げました。

今回は、豊田市内で活躍されている5つの素敵な事業所の皆様、10名を超える大学生パートナー、そして今年からはこの思いに共感して下さるパートナー企業の皆様など、本当に多くの方々に支えられて開催することができました。

事業所でのフィールドワーク、フリーペーパーの作成、

最後には、参加した高校生一人ひとりの気づきや学びを共有する「Youth Presentation」を実施しました。

この2日間を通して、私が最も大切にしかったことは、「高校生の気づきを高校生自身の言葉で語ること」です。

普段から高校生と接する機会が多いのですが、彼ら彼女らが無意識のうちに、大人から求められる言葉を選んで話すことができるようになっていく、あるいは「なってしまう」と感じる瞬間があります。

これは、成果主義の社会においては仕方がないことかもしれませんし、時に役立つことがあると思います。

しかし、良い評価を得るための言葉選びの先に、いつか本当の自分の心が分からなくなる瞬間が来ってしまうのかもしれない。

だからこそ、今回のまちなか QYouth に参加している間だけは、誰かの目や、機嫌を伺うことなく、自分の感じたことを、自分の言葉で話してほしい。そう思っていました。

そんな、経験がいつかきっと今回参加してくれた彼ら彼女らの心の余白になると信じて。

この2日間には、ここでは語り尽くせないほどの感動的な瞬間がたくさんありました。

ぜひ、次回も、開催したいと強く思っています。皆さんとまた、その時お会いできるのを楽しみにしております。

最後に、「まちなか QYouth」の実施にあたり、受け入れ事業所の皆様をはじめ、大学生パートナーのみんな、パートナー企業の皆様、そして本企画に関わってくださった全ての皆様に、多大なるご理解とご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

これからも皆さんとともに、このまちなか QYouth を創っていけることを楽しみにしております。

まちなか QYouth 代表 鈴木 友喬



このたびは、フリーペーパーをご覧いただき、ありがとうございます。

今回、第2回「まちなか QYouth」で学生代表を務めさせていただきました。

私はこれまで、「中高生が多様な大人と出会い、自分の可能性を広げられるような機会をつくりたい」という思いのもと活動してきました。

そんな中、ゆたかさんと出会い、この企画に学生代表として関われたことを心から嬉しく思っています。

私にとって「まちなか QYouth」は、初めて自分の目標を形にできた場でした。

「中高生が親や先生以外の地域の大人と出会い、地域の魅力や多様な価値観・人生観に触れることができる。

その出会いが、視野を広げ、将来を前向きに捉えるきっかけになるのではないか。」

ずっと問い続けてきたテーマに、この企画が答えをくれたと感じています。

開催にあたっては半年前から準備を重ねました。

イベントを企画・運営するのは初めてで不安もありましたが、それ以上に大きな期待を抱いて当日を迎えました。

そんな私を支えてくれたのが大学生パートナーの存在です。

初日から明るく高校生を迎え、丁寧にサポートする姿に励まされ、大船に乗ったような気持ちで取り組みました。

また、インタビューにご協力いただいた地域の事業者の皆さまにも心より感謝申し上げます。

不安そうだった高校生たちも、インタビュー後は目を輝かせて戻ってきて、この経験がどれほど刺激的で心に残る出会いだったかは一目瞭然でした。

だからこそ、この場を一過性で終わらせるのではなく、今後も継続していきたいと強く思っています。

来年度以降も出会いの場を丁寧につくり続け、挑戦が広がっていく未来が楽しみです。

まちなか QYouth が、これからも「誰かの一歩目」になるような場として育っていくことを願っています。

まちなか QYouth 学生代表 白井心野



SPONSOR

スポンサー企業の皆様

株式会社ココ住ム 代表取締役 小野 哲矢 様



地元 × 学生 = 明るい未来を作る。
 そう思ってこちらの事業に共感を覚えて協賛させていただきました。
 歩く学生に声をかけてくれる優しい昭和の昔懐かしい「まちなか」。
 この活動にはそんなキッカケ作りが込められていると思います。
 地元で不動産業を営む私からすると夢のようなプロジェクト。
 是非、この活動が続き、未来に笑顔の花が咲く事を願っています。

マネーテラス株式会社 代表取締役 梶間 勝善 様



情報社会の発達によるタイパ重視の社会。そこに AI が急速に発達したことにより、考えることよりも【誰かの正解】を求めることが多いように感じる今の社会。その中で『テクノロジー』ではなく、敢えて『働く人』にフォーカスすることによって、キャリアを醸成させるこの取り組みには、キャリア教育としての本質が詰まっていると感じています。より多くの経験値を積み、未来を切り開くこれからの世代に可能性しか感じないです。

合同会社 P-BEANS 代表社員 坂元玲介 様



「まちなか QYouth」の活動に共感し、協賛企業として参加できたことを嬉しく思います。mamekichi では、地域の人と人がつながり、集える場を大切にしています。
 高校生が自分の言葉で未来を語るこのプロジェクトは、豊田のまちに新しい風を吹き込む素晴らしい取り組みです！これからも地域の若者の挑戦を応援していきます。